



# あやかみ

令和7年度 学校だより

第5号 9月1日発行

綾川町立綾上小学校

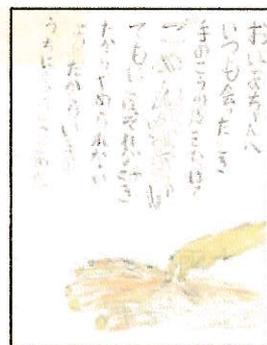
## 心をつなぐ言葉

「ごめんなさい」。——これは、今年4月に、大切にしてほしいと子どもたちに話した言葉です。今日の始業式で、あらためて子どもたちに、呼びかけました。

「アンパンマン」の作者・やなせたかしさんが幼少期を過ごした高知県では、やなせさんが発案した「ハガキでごめんなさい全国コンクール」が毎年開催されています。素直な気持ちになって、「ごめんなさい」をハガキで伝えるというものです。例えば、こんな1枚があります。

「おばあちゃんへ いつも会ったとき

手のこの皮をひっぱって ごめんなさい・・・」



(第21回ハガキでごめんなさい全国コンクール特別賞(やなせたかし賞)芸西村立芸西小学校5年生 武田裕人さんの作品)

「ごめんなさい」には、謝る気持ちが込められていますが、その奥には、「あなたとつながりたい」「あなたが好き」という思いもあるように感じます。1学期、友達とけんかをしてしまった子どもたちが、自分の素直な心に立ち返って「ごめんなさい」と伝え合う場面がたくさんありました。私たち大人も含め、人間はいろんな失敗をしてしまうものです。そんな時、やなせさんが願っていたように、素直な気持ちで「ごめんなさい」と伝え、心と心でつながれたらと思います。

2学期も、子どもたちの成長を共に見守っていただけますよう、引き続きご支援をよろしく願いいたします。

大人から子どもまでのいろんな「ごめんなさいハガキ」を、こちらの南国市ホームページでご覧いただけます。クスッと笑ってしまうものや、心にしみるものなど、すてきな作品が掲載されていますので、よろしければご覧ください。



(校長 西岡 由都)



### まだまだ暑い日が続く見込み

熱中症予防のため、登下校時、日ざしを避けるための傘(日傘)の使用をお勧めしています。使用時には、雨の時と同様に、視界を確保することや、友達や車への接触等に気を付けるよう声かけしています。